

笠野 眞喜議員



あそ立野ダムの利活用策は

笠野議員

村として阿蘇立野ダムの工事中、完成後のダムの利活用をどのように考え計画を実施するのか、令和元年11月、阿蘇立野ダム活性対策特別委員会で高知県宿毛市にある横瀬川ダム・中筋川ダムの研修を行った（詳細はP11）。国、地元自治体が一体となり、農林業及び観光振興等への活用や取り組みを研修してきた。立野ダムも両岸の掘削・クレーンの基礎工事など順調に進んでいる中、現状ではダムカードの配布・ダムカレーの販売・フォトフレーム・立野テラスの設置がされ、関連商品として酒・焼酎・ジャムの販売、ガイド育成がされているが、ツアーの状況や穴あきダムの利活用をどのように考えているか。



横瀬川ダムに設置されてるクライミング施設

西の観光拠点として活用する

村長

ダム見学者も村内外から16,400名が訪れている。工事中だからこそ開催できる昼夜のインフラツアーや、立野峡谷のジオサイト、震災遺構を活用しながら地域活性化を図りたい。ダム完成後は穴あきダムの特性を生かし、ダム上流でのカヌー・ボートの川遊び、ダム壁面を利用したクライミング・ボルダリングなど体験型観光の展開を。仮設備ヤード跡は観光の拠点、災害時の避難拠点として利用する事を検討している。さらにリムトンネル※を活用した特産品開発し、農業振興にも活用したい。

ダム周辺の施設計画は

笠野議員

ダム周辺の施設として管理棟・資料棟・ダム駅・多目的広場・避難施設が整備されると思うが、どのような考えをもってどの時期に実施するのか。

ダム工事事務所と調整図り検討を

村長

周辺施設は、南阿蘇村地域整備計画に含まれている。現在の工事工程を見据えながら、改めて、整備スケジュール等を見直す必要がある。ダム工事事務所が整備する管理施設や資料展示の計画と調整を図りながら、仮設備ヤード跡地に設置予定の避難所機能を備えた多目的施設・ダム駅も2020年度までに基本計画を策定し整備の方向を定める。



活用が期待される立野ダムの上段リムトンネル（高さ3.5m 幅3.0m 長さ380m）

※リムトンネルとは…

セメントミルクやモルタルを隙間などに充填する作業のために堤体上面横の山に掘る小型トンネルのこと。